

単元構想モデル

<ABワンセット方式>

第二次において、「教科書教材（A）→自分で選んだ本（B）→教科書教材→（A）→自分で選んだ本（B）→・・・」と1時間ごとに交互に読み進めていく方式。児童は、「ヤドカリとイソギンチャク」のリーフレットを作成しながら、次の時間は自分で選んだ生き物で、同じようにリーフレットを作成していく。

<div>導入</div> <div>単元のゴールイメージを持つ</div> <div><div>・二つの説明文の書き方を比べる。</div><div>・教材文の「問い」の効果に気づく。</div><div>・教師によるリーフレットのモデルの紹介</div><div>・学習のめあてを持つ。</div></div> <div>並行読書</div>	展開			発展
	交流会に向けて、教科書教材「ヤドカリとイソギンチャク」で『びっくり！助け合いリーフレット』づくりのポイントをつかむ。			
	A①	A②	A④	
	交流会に向けて、自分で選んだ生き物で『びっくり！助け合いリーフレット』づくりのポイントをつかむ。			
		B③	B⑤	